

留 学 報 告 書

記入日: 2017年8月22日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部経済学科 経済学専攻
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: The University of California, Berkeley
留学期間	2017年5月～2017年8月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年8月14日
明治大学卒業予定年	2020年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期: 2学期: 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約26000人
創立年	1868年

留学費用項目	現地通貨 (USD)	円	備考
授業料	5300	636000円	
宿舍費	5200	624000円	
食費	200	24000円	
図書費	0	0円	
学用品費	0	0円	
教養娯楽費	300	36000円	
被服費	0	0円	
医療費	0	0円	
保険費	0	0円	形態:
渡航旅費		210000円	
雑費	400	48000円	
その他	0	0円	
その他	0	0円	
その他	0	0円	
合計	11000	1578000円	

渡航関連

渡航経路: 羽田空港からサンフランシスコ空港直行

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	105000 円
復路	105000 円
合計	210000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

旅行会社やガイドブックは利用していません。ネット上で直接航空券を購入。

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

大学の宿舎

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3) 住居を探した方法:

インターナショナルハウスの HP から申し込み手順に沿って進む。

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

Wifi も充実しており満足でした。食事は微妙ですが、交流イベントも豊富なので良かったです。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

生徒証を一回失くしましたが、大学の HP 手順を見つけ解決しました。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

治安の悪いところには近づかないこと、夜にあまり外出しないこと。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

インターナショナルハウスの Wifi は問題なく使用できた。大学構内でも Wifi 環境は非常によかったので、特に困ることはないと思う。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを主に使用していた。アメリカはカード社会なので、自動販売機でさえもカードが使える。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

ダイソーがあるので、特にないと思う。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

大学の支払い手順に沿って行う。

卒業後の進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他: 3 年生へ進級

2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。 世界から優秀な学生が集まる UCB への留学は人生においてよい経験になること間違いなしです。是非、留学を検討してみてください。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Industrial-Organizational Psychology	産業心理学
Introduction to International Business	国際ビジネス学入門
Contemporary Theories of Political Economy	政治経済における現代理論
科目設置学部・研究科	心理学部、経営学部、経済学部
履修期間	SessionA SessionD
単位数	10 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	基本的にレクチャー型の講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Chris Wright, Dan Himmelstein, Khalid Kadir
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):

Industrial-Organizational Psychology	産業心理学
科目設置学部・研究科	心理学部 The Department of Psychology
履修期間	Session D
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー型講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 240 分が2回
担当教授	Chris Wright
授業内容	主に産業心理学の基本を学ぶ講義であった。就職活動における人事の役割と重要性などを教授のアメリカンジョークと共に学ぶ。
試験・課題など	計4つの課題とアンケート、選択式(MultipleChoice)の中間期末試験で構成されている。
感想を自由記入	教授の講義方法が良く、パワーポイントも見やすかったため、とても理解しやすかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to International Business	国際ビジネス学入門
科目設置学部・研究科	経営学部 Haas School of Bussiness
履修期間	Session D
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャーとディスカッション形式の講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 3 回
担当教授	Dan Himelstain
授業内容	国際化から経営学まで様々な分野の事柄を扱う。教授は基本的にパワポ通りに講義を進める。内容はそこまで難しくない。
試験・課題など	3つの定期課題と中間期末レポートで評価が決まる。
感想を自由記入	毎週の課題とレポートでシビアに評価が決まるので、中々難しい。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Contemporary Theories of Political Economy	政治経済における現代理論
科目設置学部・研究科	経済学部 The department of Economics
履修期間	SessionA
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 3 回
担当教授	Khalid Kadir
授業内容	講義内容は歴史における経済学者の基本理論や応用理論などを学ぶ。教授の話すスピードが速く、大学の正規学生しか取らない程、大変難しい講義であった。しかし教授の生徒に対する面倒見はとてもよく、Office Hour では非常に有意義な時間を過ごすことができた。おすすめの授業。
試験・課題など	課題の毎週ないが、一日の講義の復習は必須である。テスト前に見返しても内容が深まっていないと回答できない試験のため、日々の復習が必要である。
感想を自由記入	確かに講義自体は難しいが、教授は学生から人気のある有名な人で大学内で賞も多く受賞している。この講義を通して、非常に良い経

	験ができたと自負している。来年のサマーセッション参加者にも是非履修してほしい。
--	---

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	TOEIC 勉強
4月～7月	TOEIC 受験
8月～9月	TOEFL、TOEIC 対策勉強など
10月～12月	出願
2017年 1月～3月	学内説明会、学生情報登録申請、履修登録
4月～7月	ビザ取得、保険申し込み、渡米、Session A 終了
8月～9月	Session D 終了
10月～12月	明治大学単位交換申請、取得予定
2018年 1月～3月	春期短期留学予定
4月～7月	未定
8月～9月	未定
10月～12月	未定

留学体験記

留学しようと決めた理由	高校の時は中国の上海に住んでいたのですが、大学生になったらまた海外で過ごしてみたいと思っていました。明治大学の協定大学の中でも一番有名且つトップクラスの大学であるカリフォルニア大学バークレー校で学びたいと考えていました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	元々、中国に滞在していた頃から英語には触れていたのですが、特に準備はしませんでした。前もって英語力向上が期待できる大学内の授業(ACE など)を履修しておくのと良いかもしれません。TOEFL は試験内容にスピーキングが含まれているのでいい練習になると思います。
この留学先を選んだ理由	世界中から優秀な学生が集まる UCB のサマーセッションにおいて、彼らと交流し世界を広げられたからです。また一度は世界トップクラスの授業がどのようなものか、確かめてみたかったというのも留学理由の一つです。大学では様々な分野から履修することができるので、興味のある講義を選択し取ることが可能です。バークレーは勉強しやすい環境が充実しているのでレポートや試験勉強も図書館などで効率的に集中できます。
大学・学生の雰囲気	自分の大学に愛校心を持つ学生が多かったです。校内では、バークレーの T シャツを着ている人が多く、自分の通っている大学に誇りを持っているように見えました。バークレーは非常に広大なキャンパスを保有しているため、授業の移動が少し大変です。大学内は緑も溢れており、土日には日本からの観光客にも遭遇しました。
寮の雰囲気	定期的に学生が交流できるイベントが開催されており、海外からの友達を作りやすいです。とても温かな雰囲気の寮で過ごしやすかったです。Wifi も充実しており、部屋も一人部屋にしては中々広く住むには非常に良い環境でした。
交友関係	授業で知り合った友人と授業の休み時間などを通してよく話していました。食事などはよく同じサマーセッションに参加していた日本人と店を開拓していました。寮では交流会やイベントを開催しているので自然と友達もできました。
困ったこと、大変だったこと	大変だったことは勉強の一言に尽きます。明治大学での勉強量を遥かに凌駕していたので、とても大変だったのを覚えています。
学習内容・勉強について	政治経済学を中心に他の分野も履修しました。ESL などの比較的簡単な授業は取らず、正規学生と一緒に講義を取るようになりました。改めて感じたのは 4 単位の講義は他と比べ講義の内容が深く難しい傾向にありました。しかし学べることは非常に多く、ためになるものでしたので取って正解でした。事前の予習、帰ってからの復習は米国の大学では必須と言えます。
課題・試験について	講義によっては試験方法が異なるため、事前の対策が必要となります。中間期末試験がレポート、選択方式、エッセイ方式だったりと教授によって違うので事前にどのように回答するか、またどのように暗記するかなど早めの対策が必要です。基本的には最終試験の他にもとろんのこと日々の課題もこなさなければならないので、何事も両立が大切です。

大学外の活動について	インターナショナルハウスの横にジムがあったので、夜や空き時間などはよくそこに通っていました。アメリカの飲食物はやはりカロリーの高いものが多かったため、それを消費するには打ってつけでした。また、ジムや大学内の公共施設は基本的に全て無料なので積極的に活用すべきです。サンフランシスコへは地下鉄やバスを使って行けるので、土日はよく友人と外食や観光を楽しみました。
留学を志す人へ	世界のトップクラスの大学で学び、そこで現地の友人を作ることは留学の醍醐味であると言えます。留学を通して精神的に苦しめられること、楽しいことを体験することは自分にとって良い経験となります。3か月のこの留学は私にとって本当に良かったと思っていますし、後悔はしていません。英語も現地学生と触れるうちに上達していきます。是非留学を経験してみてください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	国際ビジネス学入門	国際ビジネス学入門	国際ビジネス学入門	起床	起床	起床	起床
	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間
午後	自由時間	産業心理学	自由時間	産業心理学	自由時間	予習復習	予習復習
	自由時間	政治経済学	政治経済学	政治経済学	自由時間	予習復習	予習復習
夕刻	夕食入浴	夕食入浴	夕食入浴	夕食入浴	夕食入浴	夕食入浴	夕食入浴
夜	ジム	ジム	ジム	ジム	ジム	ジム	ジム